

第6学年国語科学習指導案

日 時 令和3年10月15日(金) 5校時

授業者 1組 加藤 拓 2組 渡邊 里絵

学習者 6年1組 28名 6年2組 30名

- 1 単元名 表現の工夫をとらえて読み、それを生かして書こう

教材名 『鳥獣戯画』を読む」「日本文化を発信しよう」(光村図書 6年)

- 2 単元について

- (1) 児童について

これまで児童は、「言葉の意味が分かること」(光村図書5年)において、事例の挙げ方を確かめ文章の要旨をとらえることを、「固有種が教えてくれること」(光村図書5年)において目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることを学習してきた。また、「書くこと」に関しては、「みんなが過ごしやすい町へ」(光村図書5年)において文章を引用すること、「資料や表を用いて書こう」において、文章と資料を効果的に結び付け、自分の考えが伝わるように文章を書くことを学習してきた。本単元では、絵と文章を見比べながら筆者が何に注目しどのように評価しているかをとらえ、筆者のものの見方や論の進め方を学ぶ。

児童は、テーマについて調べ分かったことを書くことについては国語だけではなく総合的な学習の時間などでも経験している。しかし、本単元のように読者を引きつけるような表現方法を用いた文章は読み慣れておらず、また、自分が伝えたい物事の魅力を伝えるために表現を工夫することについても経験が少ない。アニメーション映画のプロである筆者の表現に触れ、自分が書くための表現の工夫を見つけながら読むという見通しをもたせた上で読み取りを進めていく。

伝え合いについては、完成した文章を読み合って推敲したり、感想を伝え合ったりするグループでの活動を中心に行ってきた。互いの文章の良いところなどを見つめながら評価し合うことはできるが、お互いの考えを深め合ったり、より良く改善したりするところまでは至っていない。パンフレットの構想を練ったり、誰がどの部分を担当するか話し合ったりする活動を通して、自分の伝えたいことと資料や資料の提示のしかた、読者を引きつける文章表現などについて話し合い、友達の意見を聞いて考えを深める機会としたい。

- (2) 教材について

第6学年「C読むこと」の指導事項は「ウ 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること」、「B 書くこと」の指導事項は「エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」である。これを受けて、本単元は、自分の考えが伝わるように資料を選び、表現を工夫して日本文化の魅力を発信するための文章を書くことをねらいとする。

本単元は、「読むこと」の説明的な文章教材『鳥獣戯画』を読む」と、「書くこと」の教材「日本文化を発信しよう」で構成される複合単元である。『鳥獣戯画』を読むは、「鳥獣戯画」の魅力を絵や写真などを用いながらユニークな文章表現で伝えている。書くことを意識しながら読んでいくことを通して、表現を工夫することのよさや面白さについて理解を深め活用する機会としたい。

(3) 指導にあたって

本単元のねらいである「文章と資料を効果的に結び付け、自分の考えが伝わるように文章を書くこと」に向けて、留意したい点は、次の通りである。

単元の導入では、扉のページをいかして、読む・調べる・書くという複合的な単元であることをつかませる。パンフレットを作成するという単元のゴールをあらかじめ示しておくことで「魅力を伝えるための表現」という読みの視点をもたせておく。単元の中盤では、平行読書してきた日本文化についての図書から必要な資料を探したり、表現の工夫を見つけたりする。それらを生かした言語活動として、日本文化について自分の伝えたいことに合わせた資料を選び、構成や割り付け、表現を工夫したパンフレットの作成を設定する。

パンフレットを書く段階では、「日本文化の魅力」について、伝えたいことに合わせた絵や写真を選び、構想を練っていく。構成や割り付けを考える段階では、グループでの合意形成のもと、パンフレットの大きな内容を決めていく。さらに、個々の持ち寄った情報や資料からテーマに合ったものを選び、内容を分担していく。単に個々で分担したものを集めたパンフレットにならないように、構成を考える段階での話し合いを十分に行い、全員で一つのものを作り上げる活動とすることで、よりよい学び合いと深まりのある学習を目指したい。

3 単元の指導計画

(1) 目標

- ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。〔思考力、判断力、表現力〕
- ◎引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力〕
- ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力〕
- 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。〔知識及び技能〕
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。「学びに向かう力、人間性等」

(2) 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
① 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ	① 「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。B(1)イ ② 「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ ③ 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。C(1)ウ	① 粘り強く文書と図表などを結びつけて必要な情報を読み取り、構成を工夫して書くことに取り組み、学習の見通しをもってパンフレットを作ろうとしている。

(3) 指導計画 (全 11 時間)

時	目 標	主な学習活動	伝え合う活動 (形態)	評価規準・評価方法
1	○『鳥獣戯画』を読む の表現の工夫をいかした、日本文化について調べて分かったことを書きまとめる学習の見通しをもつ。	・教材文の題名から「読む」とはどういうことを考えたり、単元後半にパンフレットを作ることを知り、課題意識をもったりする。	・絵を見て感じ取ったことを発表し合い、「絵を読む」とはどんなことかイメージをつかむ。(全体)	
2	○絵と文章を照らし合わせながら、筆者が『鳥獣戯画』をどう読んでいるかを明らかにする。	・筆者が、絵のどの部分を取り上げ、何に着目しているか読み取る。	・絵に描かれた様子を説明している文に赤で、絵に対する筆者の評価について書かれている文には青で線を引き、確認し合う。	【思考・判断・表現③】 発言・記述 文章と絵を結びつけて、筆者のものの見方や考え方を捉えている。
3	○筆者の「絵についての評価」と「絵巻物についての評価」を読み取る。	・「絵」と「絵巻物」に対する評価が分かる叙述に線を引き、論の進め方を捉える。	・筆者の絵に対する評価について感想をもち、交流する。(ペア・全体)	
4	○筆者が伝えたいことを捉え「論の展開」「文末表現の工夫」「絵の示し方の工夫」について気づいたことを書き出す。	・表現の工夫や効果を捉える。	・表現の工夫について、どんな意図があるのか考え交流する。 (グループ)	【思考・判断・表現③】 発言・記述 筆者の伝えたいことと、絵などの資料の使い方や表現の工夫、論の進め方との関わりを捉えている。
5	○「調べた情報の用い方」を読み、著作権への理解を深める	・引用や出典なども含め、著作権について知る。		【知識・理解①】 発言・記述 引用や出典、著作権などについて理解している。
6	○学校図書館などで、日本文化についての本を探し、表現の工夫に着目して読む。 ○本で見つけた表現の工夫について、グループで話し合う。	・『鳥獣戯画』を読む で学習した筆者の工夫と関連付けて考える。	・本で読んだ日本文化について、感想を交流する。 (グループ) ・本の中の表現から、参考にしたいと思うものについて発表し合う。(グループ)	【主体的に学習に取り組む態度①】 発言・記述 文章と図表などを結びつけて必要な情報を見つけることに粘り強く取り組み、見通しをもって本を読んでいる。
7 8	○グループで発信する日本文化を決め、構想を練る。 ○必要に応じて詳しく調べる。	・前時までに読んだ本の中からテーマを選ぶ。 ・本やインターネットを使って、詳しく調べる。	・興味をもった日本文化について出し合い、パンフレットのテーマを決める。 (グループ) ・調べたことを発表し合う。 (グループ・全体)	【主体的に学習に取り組む態度①】 発言・記述 パンフレット作りの見通しをもって調べ学習を進めようとしている。
9 (本時)	○パンフレットの構成を決め役割分担をし、割り付けを決める。	・誰がどの部分を担当するか決める。 ・教科書の例などを参考に考える。	・それぞれの割り付けを交流し、伝えたいことが伝わるか吟味する。(グループ)	【思考・判断・表現②】 発言・ワークシートへの記述 伝えたいことが伝わるように考えながらパンフレットの構成や割り付けを考えている。
10	○下書きをし、パンフレットを完成させる。	・グループで確認し合いながらよりよいものになるように進める。	・前時に決めた割り付けを確認しながら、下書きを書く。(グループ)	
11	○それぞれのパンフレットに対する感想を伝え合い、単元の振り返りを書く。	・各グループのパンフレットを読み合い、感想をもつ。	・表現が工夫されている点や構成の良さについて感想を伝え合う。	【主体的に学習に取り組む態度①】 発言・振り返りの記述 友達のパンフレットのいいところや、学習したことを今後の学習のいかしていこうとしている。

4 本時の指導（9／11時）

（1）本時の目標

魅力が伝わるように構成や割り付けを考えることができる。

（2）本時の評価規準（学習者の姿）

概ね満足できる姿	グループで話し合いながら役割分担をし、伝えたいことが伝わるように構成や割り付けを考えている。
努力を要する学習者への支援	いちばん伝えたいことは何かを明確にしながら、グループで話し合ったり作例を参考にしたりしながら進める。

（3）本時の展開

段階	学習活動（○主発問 ・予想される学習者の反応）	指導上の留意点
導入 5分	1 前時までの学習を振り返る。 2 課題を確認する。 ④ 日本文化の魅力が伝わるように、構成や割り付けを考えよう。 3 課題解決の見通しをもつ。	・グループで話し合って構成を考えていくことをつかむ。
展開 35分	4 分類した内容について順番を考え担当を決める （1） 分類した内容を、どの順番でパンフレットにするか決める。 （2） 誰がどの部分を担当するか決める。 5 伝えたい内容に合わせて割り付けを決める。 （1） 担当する内容ごとに最も伝えたい内容を決め、割り付けを考える。 （2） 割り付けを見合い、伝えたいことが伝わるか吟味する。 6 全体で学び合う。 ・担当したページの最も伝えたいことと、それを伝えるための割り付けを発表する。	〈伝え合い〉（グループ） ・教科書の「構成の例」を参考にグループでワークシートに書き込みながら進める。 ・割り付けの例を参考に、いちばん伝えたい内容は何かを考え、割り付けを決める。 〈伝え合い〉（グループ） ・個人で考えた後、構想段階で一度話し合いをもち、共通理解した上で進めるようにする。 【思考・判断・表現②】 <u>発言・ワークシート</u> 伝えたいことが伝わるようにパンフレットの構成や割り付けを考えている。
終末 5分	7 本時の学習を振り返る。 8 次時の見通しをもつ。	・パンフレット完成に向けて本時の学習で参考になった事は何か振り返る。 ・次時は下書きをしながらパンフレット完成を目指す事を確認する。

板書計画

日本文化を発信しよう

④
日本文化の魅力が伝わるように、構成や割り付けを考えよう。

構成の例

割り付けの例

割り付けのポイント

- ・いちばん伝えたいことは何か
- ・いちばん伝えたいことが伝わる位置に写真や絵、文章があるか。

振り返り

パンフレット完成に向けて、今日参考になったことは何か。

児童の割り付け

児童の割り付け

児童の割り付け

児童の割り付け

